

作 業 路 損 壊 事 例

平成20年5月

林 野 庁 整 備 課

目 次

1	高い切土法面		1
2	高い盛土法面		2
3	横断管渠排水		3
4	路面水		4
5	沢の増水		5
6	不良な土質		6
7	ヘアピンカーブ		7
8	先行伐採		8

1 高い切土法面

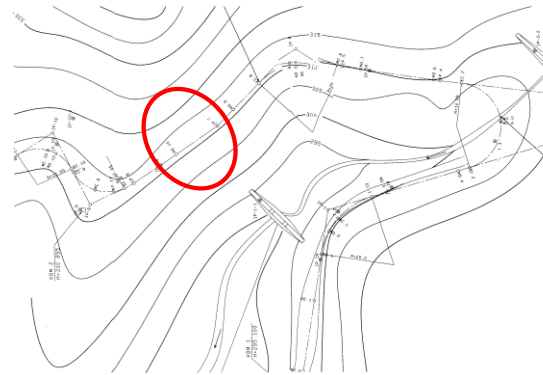
(1) 損壊状況(例)

○切土法面が高く、粘土分を多く含んだ礫交じり土の法面が降雨により崩壊(切土法高=14.0m)

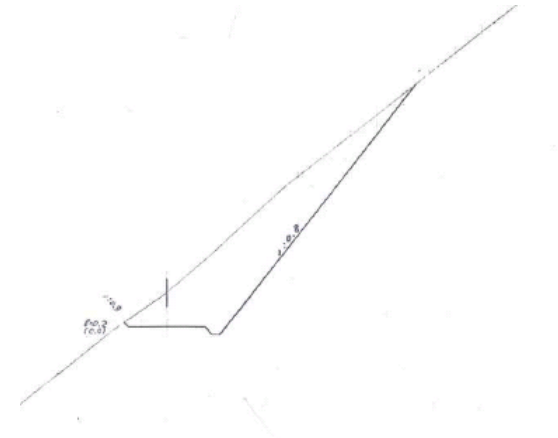
・状況写真



・平面図



・横断面図

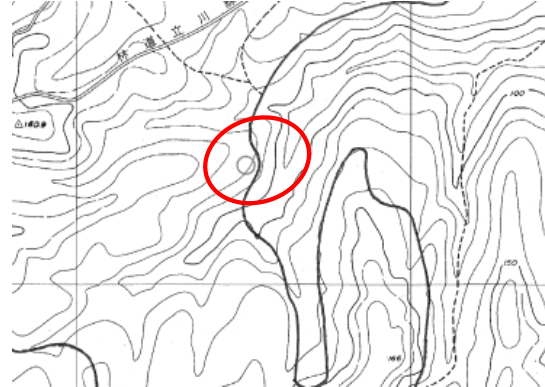


○融雪や大雨により法面上・中部の崩壊(切土法高=9.0m)

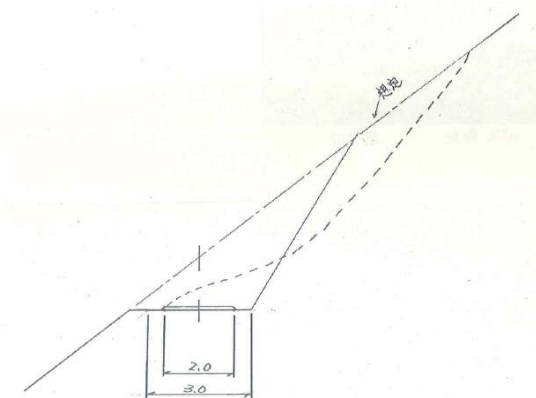
・状況写真



・平面図



・横断面図



(2) 高い切土法面で法面崩壊が発生した要因

- ・路面を切土で確保するような設計にした結果、高い切土法面となり、崩れやすい土質部分の無理な掘削や雨水等の影響により法面崩壊が発生。
- ・損壊箇所前後の線形や縦断勾配の関係から、高い切土法面にならざるを得ず、崩れやすい土質部分の無理な掘削や雨水等の影響により法面崩壊が発生。

(3) 対策

- ・切土高と掘削土量の抑制のため、切土・盛土ともに土量が少なくなるよう、片切片盛や近接地での切土・盛土の均衡に努める。
- ・事前調査及び現地踏査において路線線形や縦断勾配等の検討を十分に行い、無理のないルートを選定を行う。